

ノリ養殖環境速報 KH-30-6 (播磨灘)

平成 30 年 12 月 21 日 発行

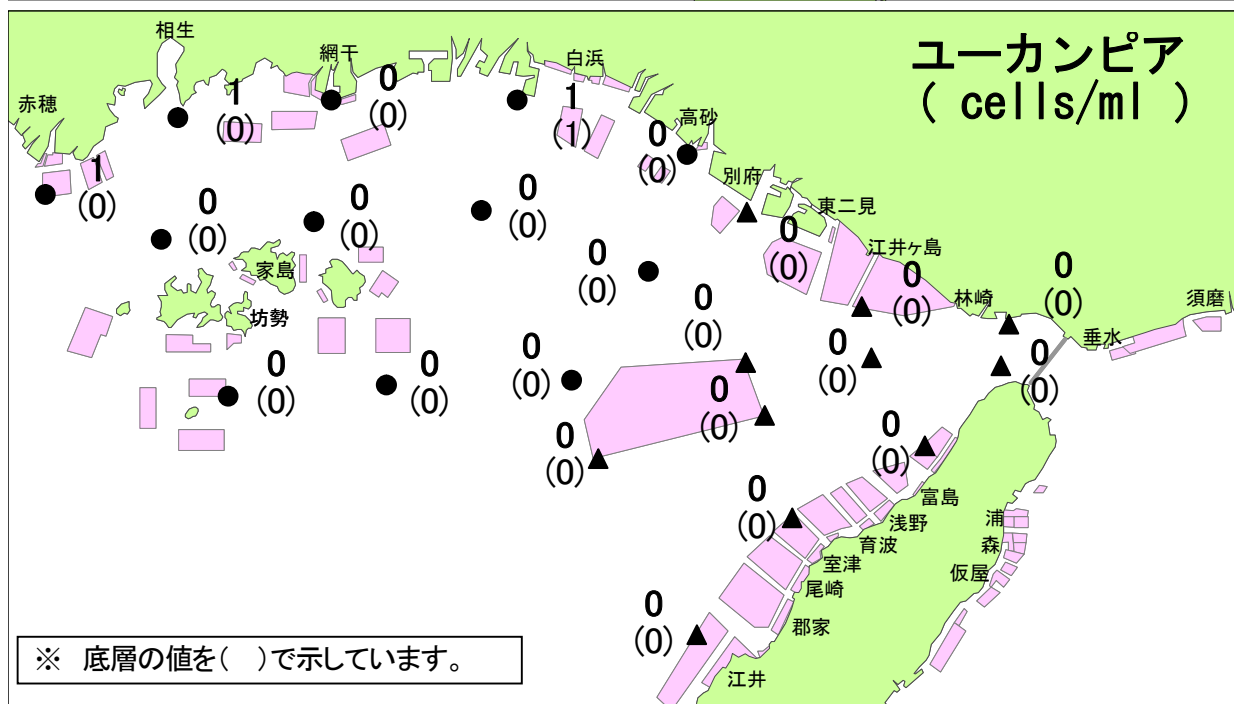
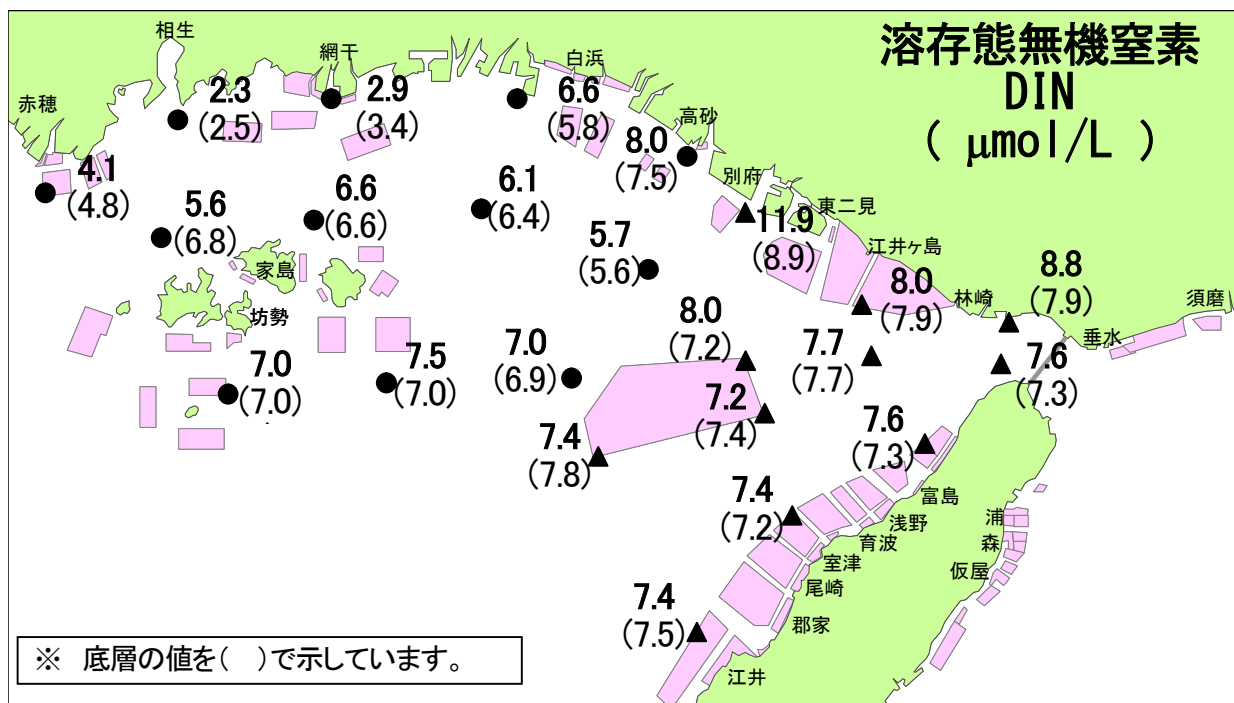
調査年月日：平成 30 年 12 月 20 日

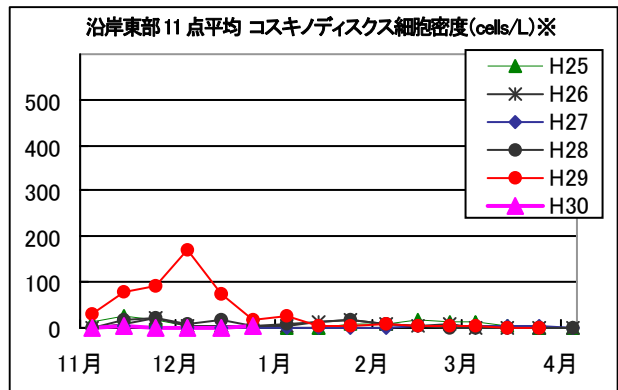
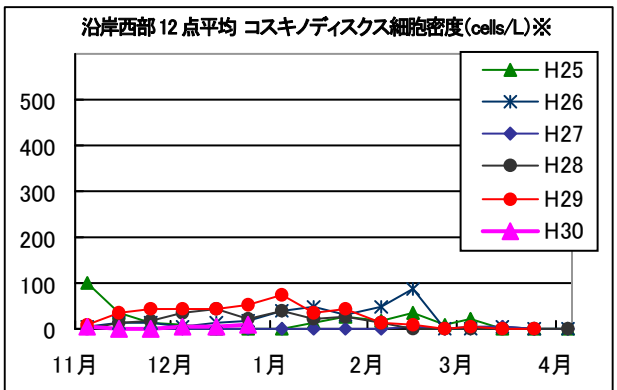
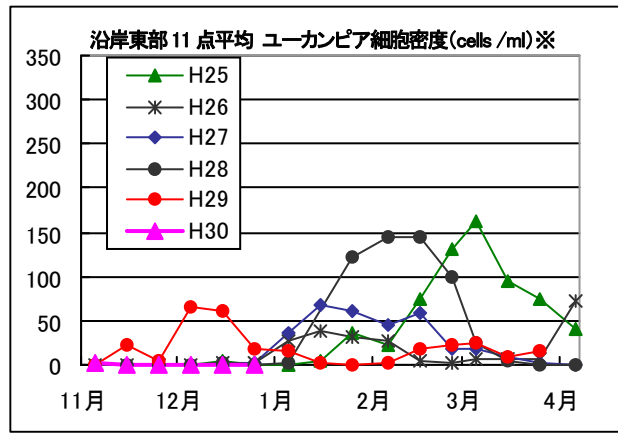
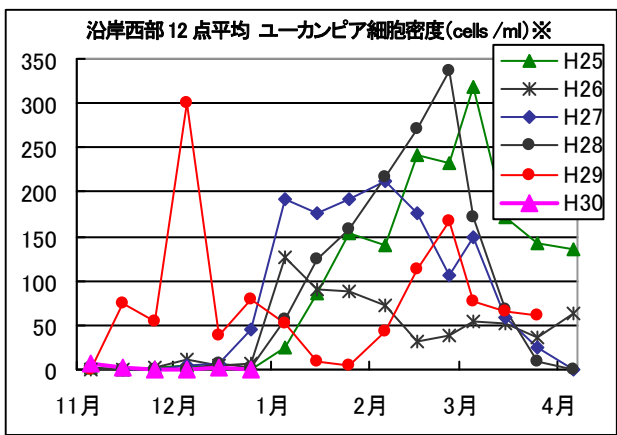
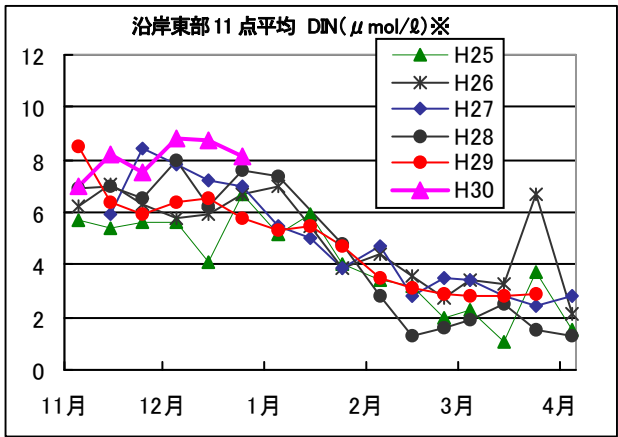
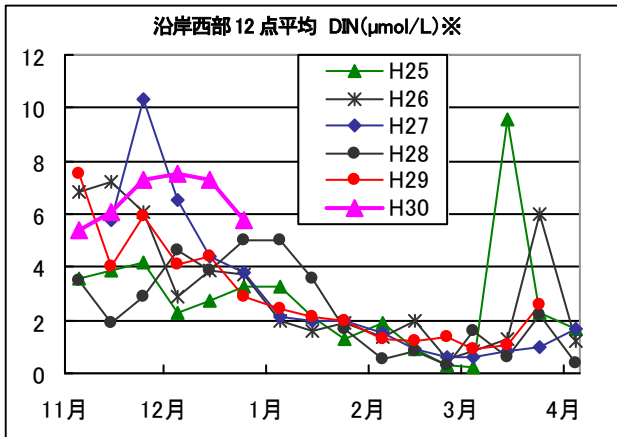
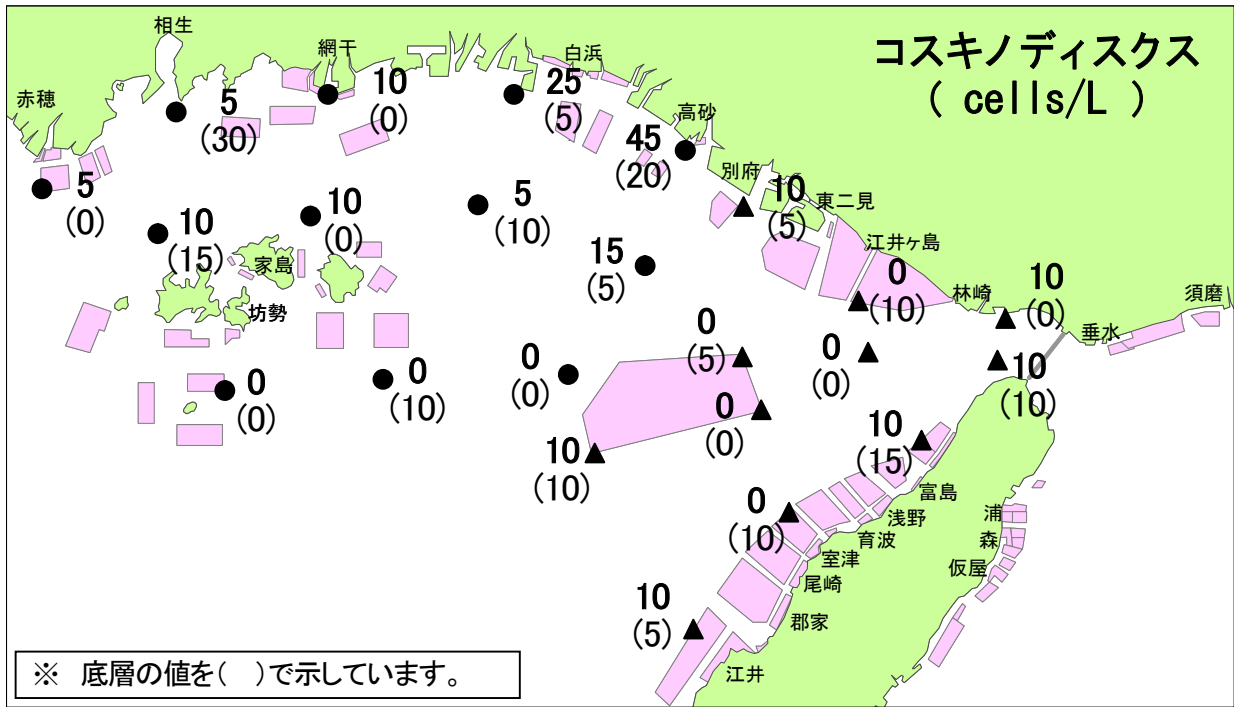
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘 (調査海域) の DIN 濃度は、2~9 $\mu\text{mol/L}$ で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは全域で確認されていますが、栄養塩濃度に影響を与える数ではありません。ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域でわずかに確認される程度です。

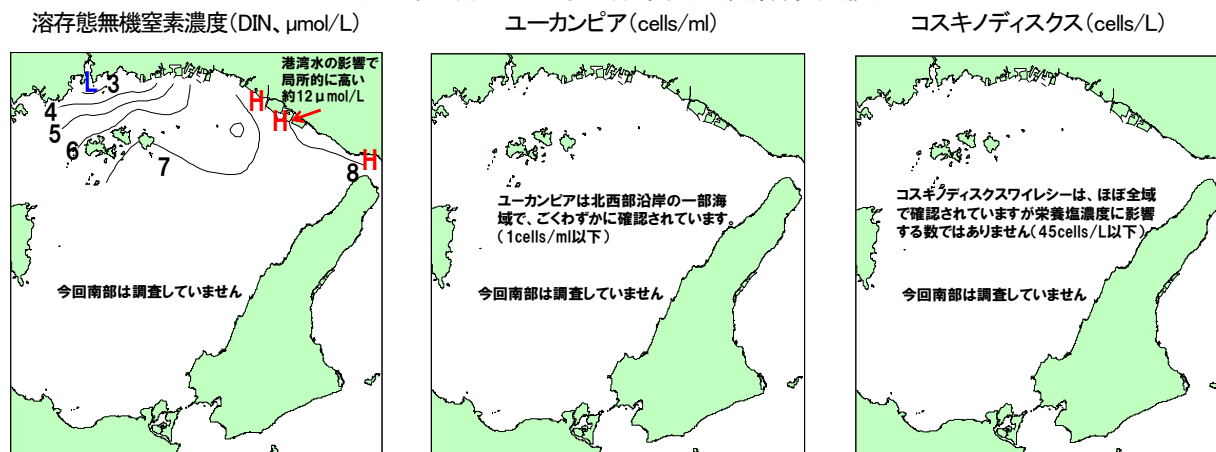
水温は、白浜以西では12.8~14.7 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では13.9~15.5 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で14.0~15.2 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では15.1~15.9 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では15.0~15.3 $^{\circ}\text{C}$ でした。





※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成30年12月20日の水平分布状況(表層、実測値)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層のDIN濃度は概ね2~9 $\mu\text{mol/L}$ でした。播磨灘北西部沿岸では多様な珪藻類が多く発生しています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレーシーは全域で確認されていますが、栄養塩濃度に影響を与える数ではありません。また、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域でわずかに確認される程度でした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか多いとされていますが、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移はやや低下傾向と考えられます。特に、珪藻類が多く発生している高砂以西の沿岸海域は栄養塩濃度の変化にご注意下さい。

週間天気予報 気象庁 12月20日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間(12/21~12/27)の近畿地方は、北部では気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、雨や雪の降る日が多い見込みです。中部や南部では気圧の谷や湿った空気の影響で雨の降る日がありますが、期間の中頃は高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。

最高気温は、期間のはじめは平年よりかなり高く、その後は平年並か平年より低い見込みです。最低気温は、平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日もあるでしょう。

降水量は、平年並か平年より多い見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査(12/13)では、牛窓沿岸のDIN濃度(表層)は11.2~11.5 $\mu\text{mol/L}$ でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクス、ユーカンピアは確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度(上・中・下旬)の発行を予定しています。
 - ・次回は平成31年1月9日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>